

# 11 月 25 日 ペルー・ブラジル国境の地震

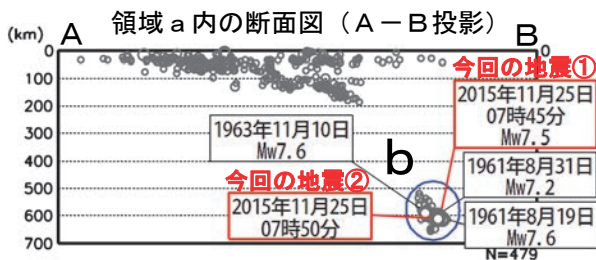
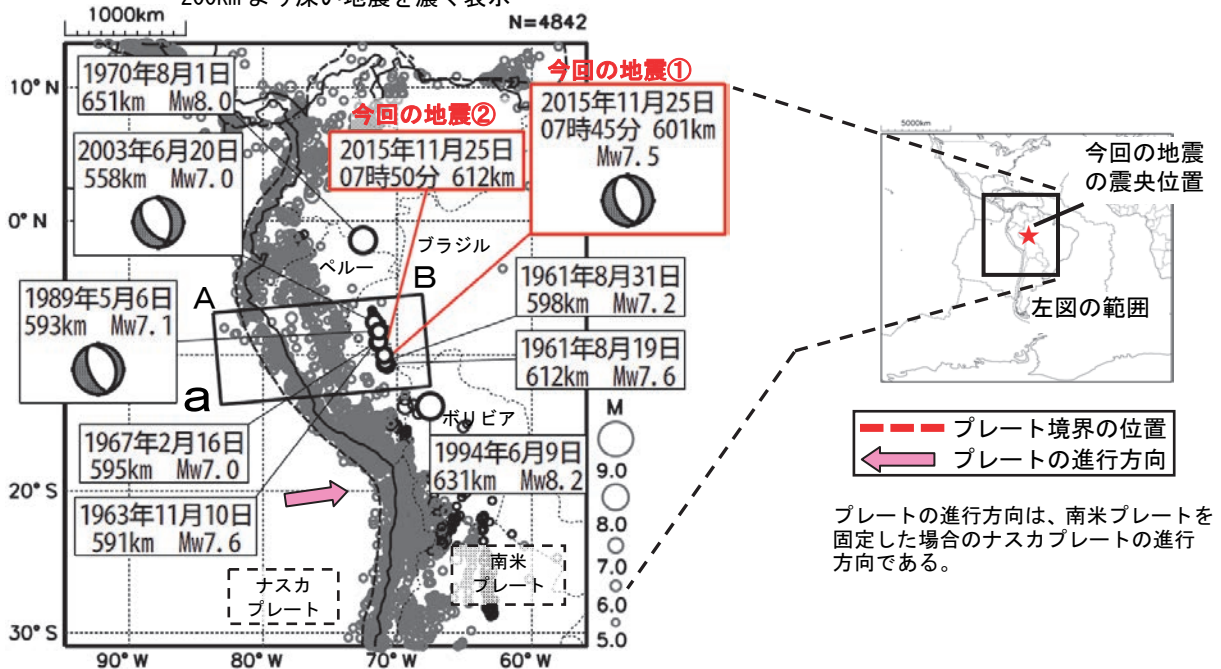
2015 年 11 月 25 日 07 時 45 分 (日本時間、以下同じ) に、ペルー・ブラジル国境の深さ 601km で Mw7.5 の地震①が、同日 07 時 50 分にほぼ同じ場所で、同規模の地震②が発生した。これらの地震は、南米プレートの下に沈み込むナスカプレート内部で発生した。今回の地震①の発震機構 (気象庁による CMT 解) はナスカプレートが沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

1960 年以降の活動を見ると、今回の地震①、②の震源周辺 (領域 b) では、M6.0 を超える地震がたびたび発生している。今回の地震の震源付近では、1961 年 8 月 19 日に深さ 612km で Mw7.6、同年 8 月 31 日に Mw7.2 の地震が、ほぼ同じ場所で続けて発生している。

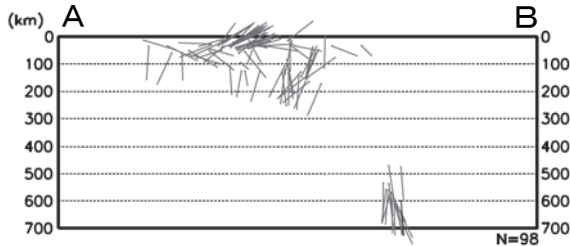
近隣のポリビアでは、1994 年 6 月 9 日に深さ 631km で Mw8.2 の地震が発生し、死者 10 人の被害を生じた。

なお、気象庁は同日 08 時 19 分に遠地地震に関する情報 (津波の心配なし) を発表した。

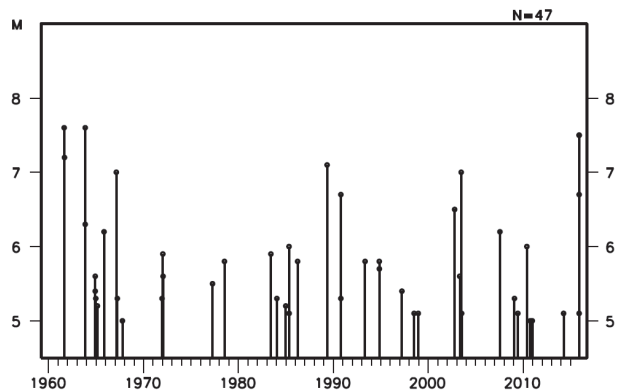
震央分布図  
(1960 年 1 月 1 日 ~ 2015 年 11 月 30 日、深さ 0 ~ 700km、M ≥ 5.0)  
200km より深い地震を濃く表示



領域 a 内の断面の圧力軸分布 (A-B 投影)  
震源から伸びる直線は圧力軸 (P 軸) の方向を示す



領域 b 内の M-T 図



※本資料中、今回の地震①の発震機構と Mw は気象庁による。1960 年 ~ 1963 年の地震の震源要素及び 1960 年 ~ 1975 年の地震の Mw は国際地震センター (ISC) による。1976 年以降で今回の地震①以外の地震の発震機構と Mw は GlobalCMT による。その他の震源要素は米国地質調査所 (USGS) による (2015 年 12 月 2 日現在)。過去の被害は、宇津及び国立研究開発法人建築研究所国際地震工学センターによる「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) \*より引用。

\*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.